

# 〔 ドロー作成の手順 〕

長野県テニス協会

## 1. 長野県内の大会について

- ① 県テニス協会が主催等する一般大会（◎印の大会）、ジュニア大会（◎印の大会）は、下記②～④を基準としてドローを作成します
- ② ネットエントリー締切後、すみやかにシーディングリスト（ランキング順）を作成し、県テニス協会のホームページ（委員会別・加盟団体別）に掲載してください
- ③ 遅くとも大会1週間前には、ドロー及びO/P（会場・時間・注意事項）等を県テニス協会のホームページに掲載してください
- ④ シードの数
  - 1) シードの数は、ドロー数の4分の1を基本としていますが、下記のシード数を基準としてシードを作成します
    - \* 1シード 4ドロー（出場数が4以下）
    - \* 2シード 8ドロー（出場数が5～8）
    - \* 4シード 16ドロー（出場数が9～16）
    - \* 8シード 32ドロー（出場数が17～32）
    - \* 16シード 64ドロー（出場数が33～64）
    - \* 32シード 65ドロー以上
  - 2) シードの選考基準：各種目最新の県ランキング上位者からシードとなります。ただし、ランキングを保持していない者でも主管団体の判断でシードにすることができます
  - 3) シードの順位：上記2)によりシード順位が決定されます。推薦者・予選通過者もシードの対象となります。また、上記③・2)でシードされた選手の順位は、主管団体の判断により決定されます
    - a) 単：各種目ランキング上位者から順番が付きまます。同位の際は抽選となります
    - b) 複：①ペアの順位の合計上位から順番が付きまます
    - ②同順位の際は個人の順位のペアが上位（2人とも同順位の場合は抽選をする）となります
    - ③ランキング保持者が一人のペアは、両者がランキングを所持しているペアの次となります
  - 4) ドローには、シード（予選は除く）を必ず記載してください。記載の方法は、別記するか、ドロー番号の前後に、○の中にシード順を番号で記載してもかまいません
  - 5) O/P発表後は、シードに欠場があってもリドローはせず、欠場したシードの位置には、シードから洩れた最上位者が順に繰り上り、その繰り上りで空いた位置は、ラッキールーザー（予選の行われた大会）又は、補欠者（参加者を制限して補欠リストを発表した大会）のそれぞれ上位者（同順位の際は抽選）が入ります。いないときはByeとなります
  - 6) 繰上げで入ったシード順位は、シーディングリストの順位がそのままシード順位となり、欠場したシードは欠番となります
- ⑤ ドローの方法
  - 1) シードの位置：1と2は決められた位置、3・4シードは2つを1組にしてまた、5～8、9～12、13～16の4つを1組にして抽選しその位置を決めます。32シードの場合も、17シード以降は4つを1組にして抽選し、定められた位置に引いた順番にその位置に入ります
  - 2) シード以外の選手の位置は、必ず残り全員を抽選によって決定します
  - 3) Byeの位置は、シード上位者の対戦相手の位置から順に、ドローの左右または、上下の数が均一になるように配置されます

## 2. 北信越・全国等の県予選大会（ジュニア大会も含む）

- ① それぞれの上位大会の要項により、決められた数の上位大会出場者が決定されます。ジュニア県予選においては、必ず補欠が選ばれます
- ② エントリー者全員の仮ドローを作成し、県テニス協会のホームページに掲載してください
- ③ ジュニア県予選のシードは、最新のジュニアランキングにより長野県大会と同様にシードが決定されます

## 3. 本戦のある予選大会（国体／全日本18歳以下／選抜室内／M U F G）

- ① 予選通過人数と同数のブロックに分け、各ブロック優勝者が県大会の出場権を得ます
- ② シードは置かず、ジュニアランキング上位者から順番に各ブロック最上段に入り、残りの上位者がブロック人数分抽選で下段に入ります。その他の選手はランキングに関係なく抽選して上から順番に入ります。バイ（Bye）は各ブロックに均等になるように入れます
- ③ 大会当日に欠場者がいてもドローの作り直し（リドロー）及び、順位の繰上げはしないで欠席（W/O）として扱います
- ④ ジュニアの予選大会においては、初戦での同校生対戦はないものとします。ただし、特別な場合は除かれます

## 4. 参加数を制限している大会

- ① 参加数を制限（例えば消化可能数を超えたときは、ランキング上位者より決定する）して大会を開催するときは、エントリー者の出場有無についてホームページ等を利用して混乱の無いように万全を期してください
- ② 出場制限をして足切りをした場合は、補欠リストを必ず作成してください
- ③ 大会当日欠場（W/O）があった場合は、補欠リストの上位者より補充してください
- ④ 欠員のあった種目に、オーバーした種目の人数を追加することができます

## 5. ドロー作成上の注意事項

- ① ドローの各種目の右側に参加数を必ず記載してください  
＜例＞ 男子シングルス（64）
- ② ドローの注意事項には、必ずランキング使用日を記載してください  
＜例＞ 今大会のドローは『2020. 4. 1』発表のランキングにより作成
- ③ ドローには、シード順位・氏名・加盟団体・所属団体を明記してください  
＜例＞ ① 1. 中山友里（高校：松商学園高校）
- ④ 仮ドロー及び、O/P（オーダー・オブ・プレー）は、大会期日1週間前に発表することとし、選手に混乱のないようにしてください
  - 1) O/Pの大会名・進行等は、「青」色で記入してください
  - 2) O/Pの選手番号の「黒は男子、赤は女子、緑は混合ダブルス」を表します
  - 3) 選手番号の前の数字は年齢別の数字となります
  - 4) S（シングルス）、D（ダブルス）を表します
  - 5) シングルスだけの大会では、Sは必要ありません。ダブルスのDも同様です
  - 6) O/PにN. B. を表示する場合は、N. B. 12：00（例）となります